

# 生き生き 韓国文化

VOL.27



6月

パンソリ「春香伝」

春香伝とスッデモリ

# パンソリ

## 「春香伝」

韓国の名節（民族的な祝日）の一つである「端午」は中国の節句の「端午」に由来しました。毎年旧暦の5月5日で、今年は6月10日になります。端午は夏の初めである旧暦の5月に田植えを終えて災厄を予防し、豊かさと安定を祈る祭祀を行う日で、主に北部地方で重要な名節として過ごしました。このような端午にちなんだ韓国の文学といえば断然「春香伝(チュニャンジョン)」が挙げられます。端午の日、広寒楼でブランコに乗っている春香に夢龍が一目ぼれして始まる話です。

### パンソリ



パンソリとは、17世紀から登場した韓国の伝統音楽であり、古典文学/演劇で、一人の「ソリックン（歌い手）」が太鼓を叩く「ゴス(鼓手)」のリズムに合わせて、ソリ(歌)、アニリ(言葉)、ノルムセ/バルリム(身振り)を混ぜて物語を解きほぐすのが特徴です。パンソリは下層民を対象に始まった芸術文化でしたが、18世紀に入ってから両班(支配階級)の階層に受け入れられ始め、朝鮮半島全域で愛される文化となり、現在まで伝わってきています。

### 春香伝



夢龍と春香が出会った広寒楼



南原府使の息子・李夢龍（イ・モンニョン）と、妓生（キーセン）である月梅（ウォルメ）の娘・成春香（ソン・チュニャン）は、広寒楼で出会い、愛を育む。しかし、父の任期が終わり、夢龍は都に帰ることになる。夢龍と春香は再会を誓い合う。新たに赴任したビョン府使は、春香の美貌を聞きつけて我が物としようとするが、春香は夢龍への貞節を守ることを主張して従わない。激怒したビョン府使は春香を拷問し投獄する。いっぽう夢龍は科挙に合格して官吏となり、暗行御史として南原に潜入した。夢龍はビョン府使の悪事を暴いて彼を罰し、春香を救出する。二人は末永く幸せに暮らした。

## スッデモリ(よもぎ頭/よもぎのように乱れた髪)

「スッデモリ」は春香の歌の15番目のくだりで、春香がビョン府使のお伽を拒否し、獄中にモンリョンを恋い焦がれる内容です。春香の絶望的な気持ちを全羅道の方言で切なく表現しました。

スッデモリ クィシンヒョンヨン ジョツマゴツバン チャンジャリヨ

よもぎのように乱れた髪をして、幽霊のような姿で静かで寂しい監獄の冷たい席に座していると

センガツナヌンゴスン イムプニラ ボゴジゴ ボゴジゴ ボゴジゴ

思い出すのがあなたしかいない、会いたい、会いたい、会いたい

ソンガラッ ピルネオ サジョンウロ イムル チャジャボルカ

指を噛んで血を出して私の事情を手紙で書いてあなたを探してみようか

カンジャンエ ツソグンヌンムルロ ニムファサンウル グリョボルカ

心の中に流れる涙であなたの顔を描いてみようか

ケグンハンア チュウォルガチ ボンヅシ ソサソ ビチゴジョ

月の国の天女が住んでいる秋の月のように高くそびえて私の姿をあなたに映したい

ジョンジョンバンツク ジャムモディロ ホジョツモンウル オイクルスインナ

寝返りを打ちながら一晩中眠れず、蝶になってあなたに会う夢すら見られない

ネガマニル ニムモツポンチェ オツジュンゴホニ デゴドウミョン

私がもしあなたに会えずに監獄で寂しく死んで魂になれば

ムドマペ ソンナンドルン マンブソギ デルゴシヨ

お墓の前に立っている石は、望夫石になるでしょう

ムドムグンチョ ソンナムヌン サンサモギ デルゴシニ

墓の近くに立つ木は相思樹になるだろうから

センジョンサフ イウォントンウル アラジュリガ ニイッスラン マリニャ

生きても死んでもこの悔しさを誰が分かってくれるだろうか？

